

# “トキと暮らす島”を目指して



佐渡市役所農林水産部  
農業政策課 トキ・里山振興係  
係長 池田 厚志

# トキのエサの取り方



土の中や地面などにいる生きものを、くちばしで探って挟んで捕まえる。

\*くちばしの先に神経が通っていて、触った感覚でエサとなる生きものを見つけることができる。

# 農業における危機①米価の下落

人口減少と一人当たり消費量の減

○米価の下落（60 k g 1等米）

1994年 23,950円

2002年 18,952円

2007年 14,660円

約40%の下落

生産意欲の減、収入の減→農業の崩壊

# 農業における危機②台風の被害

## ○平成16年(2004年) 台風災害

作況指数 51%      1等米比率 17%

参考【令和4年産米】

- ・ 作況指数 : 101%
- ・ 1等米比率 : 80.9%

## ○平成17(2005)～19(2007)年

約23,000tの生産に対し、毎年約5,000t (21%) の売れ残り

加えて…

**生産調整の強化 →**

**耕作放棄地の増加 → 里山の崩壊**



トキの餌場は浅い湿地

トキが定着した佐渡の  
安心安全なお米を作る



生きもの  
豊かな田んぼ

佐渡全体での  
環境再生が重要



佐渡のお米の ブランド化 へ





# 生きものを育む米づくり 朱鷺と暮らす郷づくり認証制度

- 佐渡で栽培されたお米であること
- 「生きものを育む農法」により栽培
- 生きもの調査を年2回実施（6月・8月）
- 農薬・化学肥料を削減した栽培（慣行比5割以上減）
- 畦畔に除草剤を散布していない（夏の餌場の確保）

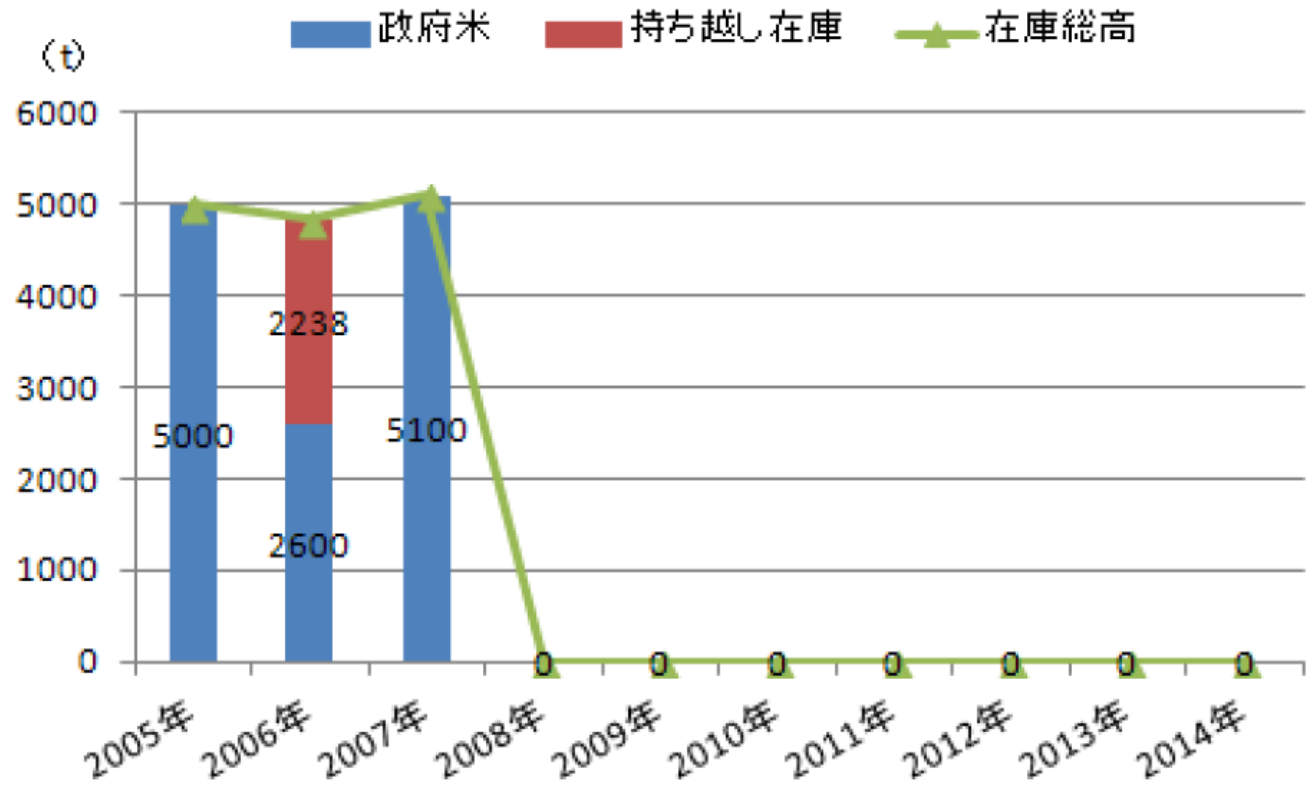




# 2008年以降 佐渡米の売れ残りがゼロになった！



図：米の在庫高推移





# 「朱鷺と暮らす郷」を買うお客様の声

今まで食べたお米の中で一番美味しいお米だと思います。  
本当に炊いたあと時間がたっても美味しさは変わりませんね。

お米屋さんに朱鷺と暮らす郷づくりのポスターがあり、  
目を通して見ると「生きものを育む農法」の事が詳しく説明されていました。

このお米なら安心して購入できると思い決めました。

トキの野生復帰のため、島全体で取り組んでいることに敬意を感じています。  
毎月1回程度1時間半かけてトキ米を買いに行きます。

玄米で食べても白米にして食べてもおいしく、他のお米は食べられません。  
安心して食べられるのが何よりも孫のためにありがたいです。

10年来、お米屋さんからの推薦で「朱鷺と暮らす郷」のお米を使っています。  
成長期の息子には少し贅沢なお米？！ですが気に入ってます。

朱鷺と暮らす郷にしてから夫はお弁当のおにぎりを2～3個に増えました。  
これからも朱鷺が安心して暮らせる田んぼにしてください。応援しています。

お米屋さん

安心

応援しています

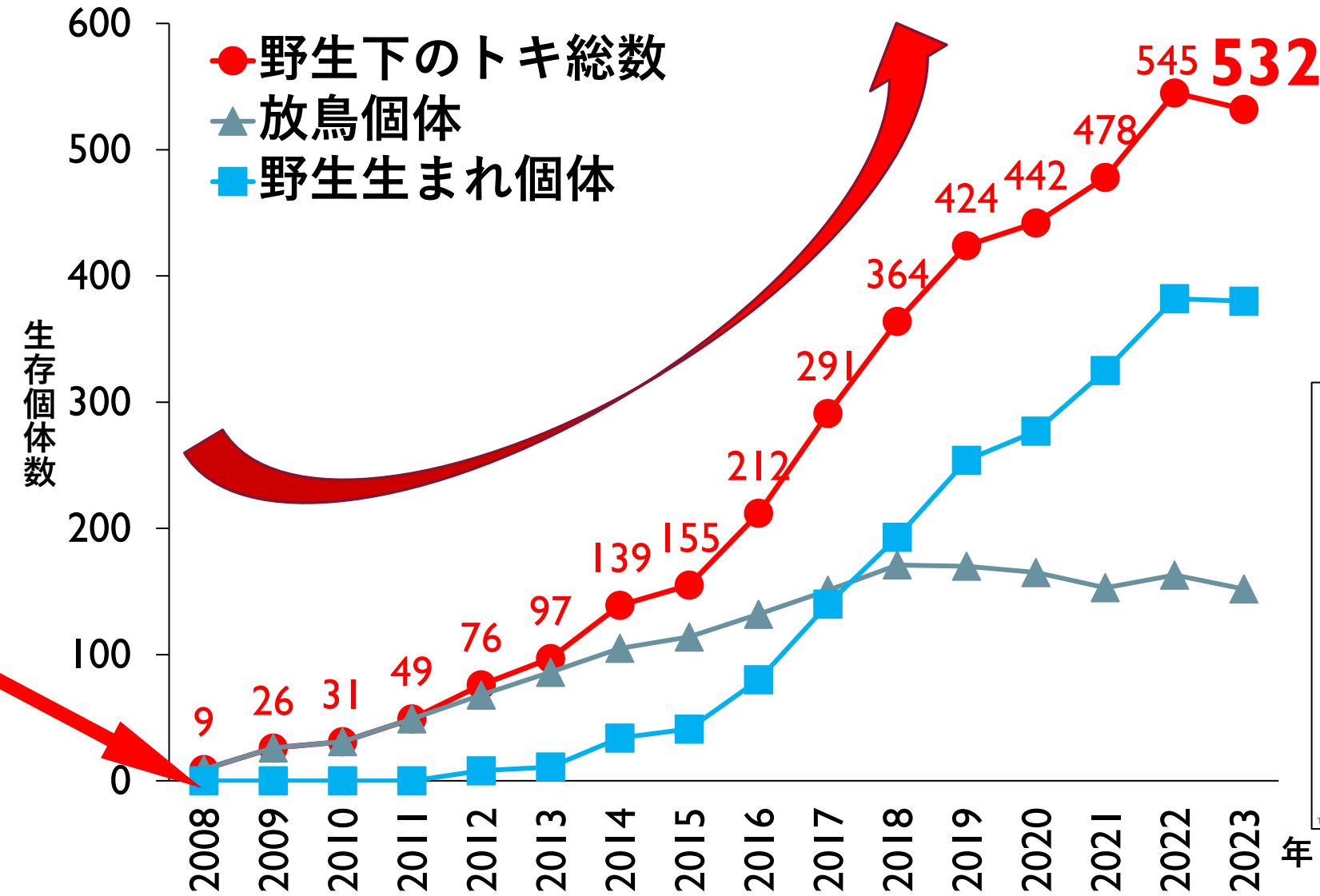
多様な生物を育むことで生まれる経済との好循環

# 佐渡トキ応援お米プロジェクト



募金総額 約 4,000万円 都市消費者との交流&産地応援

# トキと暮らす島を目指して



\*2023年末  
時点の推定値

